

## 「主役はみんな “きょうどう” でつながる 笑顔あふれるまち」 を目指して



このたび、歌志内市の令和8年度からの10年間のまちづくりに向けた「歌志内市総合計画(第7次基本構想)」を策定いたしました。

第6次基本構想期間中におきましては、協働によるまちづくりと将来の人口規模を想定したまちのコンパクト化に重点を置き、まちづくりを推進してまいりましたが、この10年間に人口減少と高齢化はさらに進行し、それに伴う地域経済の縮小をはじめ、価値観や生活様式の多様化による新たな地域課題、市民ニーズへの対応が求められています。

第7次基本構想では、こうした現状を踏まえて実効性のある施策を講じ、スマートシュリンク(戦略的集約)による「持続可能性を見据えたまちづくり」と、市民一人ひとりがまちづくりの主役となって幸福に暮らすことができる「ウェルビーイング(幸福度)の向上」のため、目指すまちの姿(将来像)を「主役はみんな“きょうどう”でつながる 笑顔あふれるまち」と掲げました。

これまで先人たちが築き上げた歴史や文化、伝統を次世代に継承することはもとより、市民の皆様と知恵を出し合い、“きょうどう”することでまちづくりへの思いを共有し、「このまちに生まれてよかった」「このまちで最期まで暮らしたい」と誰もが地域への誇りや愛着を持つことができる、新たな「歌志内」の創造に向けて全力で取り組む所存であります。

結びに、本計画の策定に当たり、アンケート調査や意見交換にご協力をいただいた多くの市民の皆様をはじめ、まちづくり市民会議委員の皆様、慎重なご審議を重ねていただきました歌志内市総合開発審議会委員の皆様、並びに市議会議員の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、今後とも“きょうどう”によるまちづくりの推進に向けて、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

歌志内市長 柴田一孔